

# 創立35周年に寄せて



特許庁長官

糟谷 敏秀

一般財団法人日本特許情報機構が創立 35 周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

貴機構は、質の高い特許情報の提供により、経済・社会の発展に貢献するべく事業を展開されてまいりました。この 35 年間、時代は、昭和、平成そして令和へと変遷し、経済・社会のグローバル化も大きく進展しました。

また、新型コロナウイルス感染症は、デジタル化の加速、企業による海外拠点の分散化や国境をまたぐ人の移動の制限など、我々の生活様式や経済・社会に大きな状況の変化をもたらしています。この激変する状況への適応が求められる今、イノベーションの力が重要であることは疑いの余地もありません。これまでも、イノベーションは過去の技術蓄積の中から生まれてきましたが、それを構成する特許、実用新案、意匠、商標を含む特許情報は、イノベーションを生み出す源の一つであると考えております。

グローバル化の進展に伴い、企業の海外進出の際に外国の特許情報を事前に調査することが重要となる中、貴機構は、世界主要国・機関の特許情報を横断的に検索することができる世界特許情報全文検索サービスを提供されており、サービス利用者からその利便性について高い評価を得ていると伺っております。

近年、技術進展が著しい人工知能分野の研究開発に着手され、特許・商標情報分野における検索・翻訳・分析等への適用に向けて積極的に取り組まれています。これら研究開発の成果が結実し、更に質の高い特許情報の提供を通じて、経済・社会が発展することを切に期待しております。

さらに、貴機構は、研究開発だけでなく、特許情報関連の日本最大の見本市である「特許情報フェア & コンファレンス」、特許情報の普及に関わる方々を表彰する「特許情報普及活動功労者表彰」を通じて特許情報の普及と活用に長年大きな貢献をされています。

これらの取組の意義は、現在のこの激変する状況においてますます高まっています。

今後とも、貴機構が日本における特許情報の普及活用の促進に貢献されるとともに、ますます発展されることを祈念いたしまして、創立 35 周年のお祝いの言葉とさせていただきます。